

保育おおさか

No. 490

平成28年6月1日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

幼稚園教諭免許状

取得特例講座を開講!!

保育部会では、「幼保連携型認定こども園」への円滑な移行を進めるため、幼稚園教諭免許状取得特例講座を平成28年6月19日(日)から相愛大学で開講します。

要な単位数(短大卒で39単位・大卒で59単位)から8単位へ大幅に軽減する等の特例措置が講じられました。

本講座は相愛大学のサテライト講座として、アクセスの良い大阪市内を会場に開講します。

1 現職の保育士も受講し易いように、週末の土・日曜日を活用した集中講座

2 地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修修了者はカリキュラムの一部を免除

3 会員施設保育士は一般の方に比べ安価な価格で設定

今後、幼稚園教諭更新講習の開講も予定しています。この講習は幼稚園教諭免許状の更新期間がある10年を迎える保育士に受講していただくものです。更新



瑞宝単光章

倉治保育園

森田 英津子

多くの皆様の支えと子どもたちの元気な姿や笑顔に出会えることが励みとなり、長く保育の仕事に携わることができました。

そのことが今回の受章につながり、大変名誉なことと感謝しています。

して免許状の有効性を維持するには、30時間以上の免許状更新講習を受講・修了する必要があります。府社協では改正後の「幼保連携型認定こども園」の継続的な運営も支援できるように努めてまいります。(事務局)

新制度移行2年目 府内の認定こども園数 376園に

幼保連携型認定こども園の認可等権限は、大阪府と政令市・中核市が所管しておりましたが、平成28年4月より、池田市、箕面市及び松原市に権限が移譲されました。

併せて、その他の類型の認定こども園の認定等権限も、大阪市、池田市、箕面市及び松原市に権限が移譲されました(堺市は10月の権限移譲を予定)。

今後とも、市町村と連携を図り、認定こども園への移行支援と、適切な指導・助言等に努めてまいります。

	公 立		私 立		合 計
	府所管 市町村	政令市・ 中核市	府所管 市町村	政令市・ 中核市	
幼保連携型	5	27	148(5)	151	331
幼稚園型	1	1	13(1)	24(12)	39
保育所型	1	0	0	5(2)	6
合 計	7	28	161	180	376

(平成28年4月1日現在) ※権限移譲済み施設数は、内数にて()内に記載



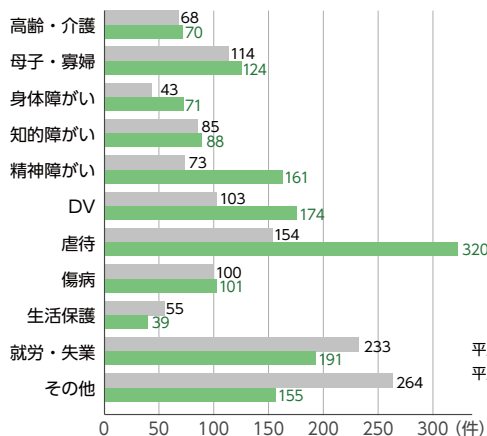
先日、テレビで世界一貧しい大統領と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領がこんなことを言っていました。

「自分にとって、時間とは人生であることを忘れてはいけません。人生について考えた時、仕事、家族、趣味など、人生の楽しみを享受するのに必要な時間を、果たしてどれだけの人が十分に確保できているのか。これは「日本死ぬね!」で話題になっている、今日の日本における子育てと仕事の両立にも関係しているのではないのでしょうか。家庭を築き、子どもに恵まれた時、家庭を豊かにするために一生懸命働く一方で、家族や我が子との時間をどれだけ確保できているのかを考えれば、保育園を増園することも必要ですが、子どもと過ごす親子の時間をつくりだす社会でなければ、仕事と子育ての両端のバランスが崩れ、人生の豊かさを感じることが難しくなるのではないかと思います。子どもたち、子育てをする人たちにとってより良い社会づくりが今の日本には求められていると感じます。

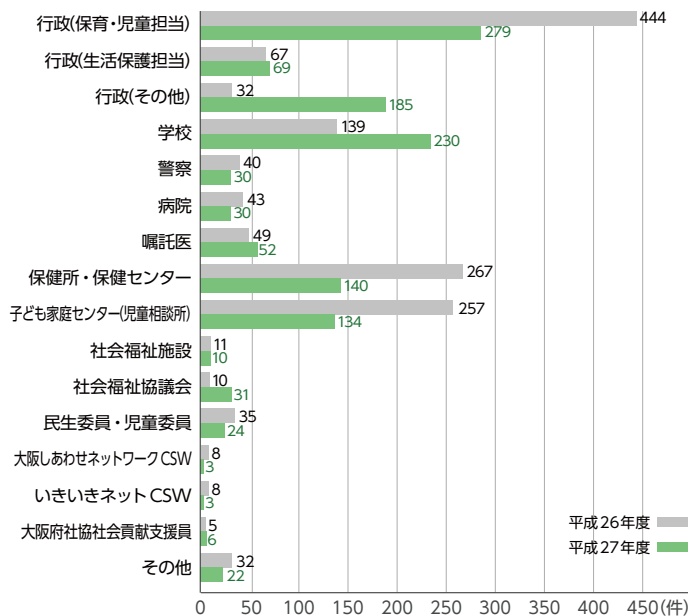
(編集委員 Y・K)

平成27年度 取り組み実績調査報告

保育・子育て以外の相談内容



連携をとった関係機関



平成27年度、181人が育児相談員認定書の交付を受け、累計2,168人(健康福祉部長認定1,069人、府社協会会長認定1,099人)となりました。

また、同年度には190人が地域貢献支援員(スマイルサポーター)の認定を受け、累計1,756人となりました。

2回(11・4月)実施。「相談事由」のうち保育・子育て以外の内容で平成26年度と比べ、精神障がい・DV・虐待に関する相談の著しい増加が見受けられ、特に虐待に関して約2倍もの増加という調査結果に、主な理由として「子どもが言うことを聞かないため、どうしていいのかわからず手を出してしまった」「育児疲れから、イライラして手を出してしまった」という子育てからくるストレスによるケースが多く寄せられ

ました。

その他の意見として、離婚、夫婦関係、人間関係に関する相談が多数見受けられました。一方、就労・失業に関する相談件数は減少しています。

その他、発達障がいに関する相談が多く、2歳児程の幼児の言葉が出にくい等で発達障がいではないかと疑われる保護者の方の意見が寄せられました。

相談内容が多様化するにつれ、問題解決にあたり公共機関だけでなく、本会が推進する大阪しあわせネットワークや、施設連絡会など地域資源を活用し、多様な施設との連携がますます重要になってきています。

例えば、保育施設で起こった問題でも、その問題の原因について多種別施設との連携により解決にあたる、といった重層的な支援が展開できます。

調査結果ではまだまだ件数は少ないものの、多種別施設との連携が機能し、進んでいくことが期待できます。(事務局)

平成28年度新任職員対象 新任職員研修を 開催

3月18、22、29日の3日間、大阪社会福祉指導センターで546人の新任職員が参加。人材育成コンサルタントの増田知乃氏、神戸松蔭女子学院大学教授の寺見陽子氏、神戸親和女子大学教授の戸江茂博氏、大阪人間科学大学教授の柏原栄子氏から、それぞれ「保育者に求められるマナーの実践」「保育の現状と課題」「専門職としての保育者にむけて」の3つのテーマで講義を受けました。

講義では、保育サービスの多様化が進んでいる現在、子どもの保育だけではなく、保護者支援や地域の子育て家庭への支援の重要性などの話があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。

また、信頼される保育士になるために社会人としてのマナーを身につけ、自己研磨を続けることが大切。「子どもや保護者とともに成長しつづける保育者になってほしい」とエールが送られました。(事務局)

「みんなで」「なかよく」 「すこやかに」育ち合いを 大切に

高槻市

幼保連携型認定こども園

津之江さくら保育園

(津之江小規模保育園)

また、園内に「地域子育て支援センター」があり、親子教室や講座を開催。園行事である移動動物園や芋

食育は菜園活動やクッキング、栄養指導などとおして命の尊さや食の大切さを学びます。

玄関にある八重桜が満開の時期にはお花見を、プールや夏祭り、遠足、運動会、発表会など、さまざまな体験とおして自分の興味を広げられるように保育、教育しています。

豊かな感性を養うため、0歳児から生活の中に音楽を取り入れています。3歳以上は、リトミックや文字のお稽古、数字に親しみをもつための時間があり、4歳から希望者はスイミング教室に通い、5歳はテクニ



保育園外観



動物とのふれあい

(編集委員 M・K)

掘り、もちつき大会に参加することもでき、在宅の親子の支援拠点として地域と連携をしながら活動されてきました。



保育園・
認定こども園
をたずねて

539

京 阪香里園駅から徒歩15分ほど住宅街の中を歩くと、タイルを基調とした寝屋川めぐみ保育園が見えてきます。昭和50年に定員60人で開園。平成16年に新築移転で今の園舎になり、現在では寝屋川市の待機児童解消のため、定員を100人に増員され保育ニーズに応えられています。

四方に住宅がある環境ですが「子どもたちに外で遊べる環境を！」という亀井信昭理事長の強い想いから、私財を投じて園庭を確保され、その園庭で子ども

たちがのびのびと遊んでいました。また、地域の公園や畑も保育環境の一つと捉え、散歩では季節の花や旬の野菜、地域の方との出会いなど、地域の資源を保育に活用されていました。プランター菜園では、子どもたちが種を蒔き、発芽・収穫の過程を大切にしています。収穫したその日に給食の一品に取り入れるなど、給食室との連携の良さも感じました。



屋上のスペースもフル活用!!

(編集委員 T・T)

人ひとりの成長の過程を大切にしたい保育や子どもの育ちに、職員集団として関わっていく保育を日々取り組まれています。

元気いっぱい遊べる子

楽しい保育環境ですこやかに育みたい

寝屋川市

保育所

ねやがわ

寝屋川めぐみ保育園

子どもの「身体」「心」「仲間」を大切に

のびのびと育てたい

保育所

東大阪市

はるみや保育園

園周辺は、高層な建物も多くある中ですが、公園などにも恵まれ、緑の中で自然を感じ、動植物にふれることもできます。園庭や遊戯室も広く、集団あそびなど身体をたくさん使ったあそびを取り入れています。子どもにとって、生活とあそびは、何よりも大切です。身体をいっぱい動かしながら、大人に見守られながら、「やりたいこと」「やってみようこと」を見つけて試み、一瞬一瞬の発見を大事に「やったね!」と、友だちと感動を分かちあい、互いに認め合う集団に育ってほしいと願っています。

食育については、

栄養バランスの摂れた楽しい食事を提供。



あったか手作り給食と食育体験

野菜の栽培や収穫の体験・クッキング・年長組の五味体験、お味見当番などを経験し、食に興味をもてるようにしています。こういった子どもの「身体」「心」「仲間」を大切にすることを目標に、職員は毎日奮闘しています。

(編集委員 T・Y)

玄関を入るとすぐに調理室があり、給食のよい香りが広がります。自園調理を行う給食は子どもたちに大好評。調理室の大きな窓からは調理の先生の姿がよく見え、子どもたちの食に対する興味が広がります。

毎日の「みことばと祈り」や礼拝などだけではなく、地域社会と協力すること、感謝の気もちをもつこと、日々の生活する姿勢そのものにキリスト教の教えが色濃く反映されています。



子どもたちにもよく見える調理室

(編集委員 R・Y)

保育方針は、各年齢の発達をふまえ、自主性・主体性を大切に伸び伸びと育つよう、養護と教育が一体となった保育をしています。

昭和42年東大阪市立春宮保育所として設立。その後平成6年に社会福祉法人公共社会福祉事業協会が運営を受託。平成18年より東大阪市から指定管理者として運営を受託し、平成26年9月に新園を建設、社会福祉法人公共社会福祉事業協会の「はるみや保育園」と名称を変えました。

はるみや保育園は東大阪市の中心部、近くに中央環状線が通り、市役所や図書館が隣接している地域にあります。



元気に外遊び・竹馬・和太鼓に挑戦



保育園・認定こども園をたずねて

540



天使たちがお出迎え

未来を担う子どもたちのために

日々の生活にキリスト教の教えを取り入れた保育

保育所

藤井寺市

ラミー保育園

近隣に簡易保育施設「こひつじ」の設立や、つじの広場「藤井寺」による子育て支援など、待機児童解消の一役を担い、地域の子育て世帯に寄り添う心強い味方として藤井寺には無くてはならない存在となっています。



シリーズ●より良い保育士養成のために いっぱい期待と不安を胸に

南海福祉専門学校 室谷 雅美
児童福祉科

実習開始 掃除のいろは

本校の学生たちも、幼稚園・保育所（園）・施設に実習に参ります。もちろん、私たち教員も実習巡回をします。実習先の担当の先生からお褒めのお言葉をいただいたり、お叱りのお言葉をいただいたりすると教員もハラハラ・ドキドキしながら巡回に出かけます。

日頃、学校では見られない学生の一面も見られ、新しい発見ができることもあります。ときには、実習先に卒業生が職員として勤めていることもあり、久しぶりの再会に喜び合うこともあり、元気に働いている姿を見る楽しみもあります。

ある時、園長先生から「南専の学生さんは、お掃除が上手ですね」と、褒めていただいたことがあります。

「最近の学生さんは、お掃除ができないのですよ。箒をモップのように使い、先をすくダメにしてしまいました」と、嘆かれていました。私は、びっくりするとともに、日頃の成果が出たときの中で「よし！ よし！」と思いました。

もちろん、学生には園長先生から掃除が上手にできたと褒めていただいたこと、これからも気もちよく掃除

ができるといいねと声をかけました。

本校は、毎日授業終了後、日直が掃除をすることが義務付けられています。掃除が終われば、教員が確認をし一覽表に押印（サイン）をするようになっていきます。特に私たちは乳幼児と関わる職に就きます。乳幼児は、いつ口にも物を入れるかもしれません。常にごみが落ちていないよう、清潔にしておくことを心がけることを指導しています。

新入生は、全員が一度経験するまで教員と一緒に掃除をします。日頃はなかなか学生一人ひとりと話すことができませんが、短い時間ですが、掃除をしながら学生と話ができるのは、日頃とは違った学生の一面が見られ、教員にとっては楽しい時間です。

日々の学びと努力

もちろん、褒めていただくことはあまりありません。実習ノートを書くにあたり、誤字脱字があると指摘をいただきます。最近ではパソコンなどを使用する

ことが多く、漢字を自ら書くことが少なくなっています。

そこで、本校も「基礎教養講座」（30コマ）の授業で漢字検定のテキストを使用し、学生各自の実力にあった級のテキストを用い、授業の始まる10分間を使い、全員テキストを使用し漢字の勉強を行います。

やりっぱなしになつてはいけないので、間違えた漢字を5回ずつ必ず練習するようにしています。身

に付いている不安もあります。最終目標は、漢字検定を受検することとしています。検定日が定期試験や実習中等で合わず受検者が少ないのが悩みの種です。

また、「保育に関する漢字」と名付け、保育によく使われると思われる漢字を教員が選び、プリントにして配付し練習をします。4

回に分けて小テストを行い、合格できるまで何度も再テストをしています。実習ノートで誤字脱字が無くなるよう、学生たちも頑張っています。お蔭で実習巡回の折、保育所の所長先生から『保育に関する漢字』を

授業でなさっているのですね」と、声をかけていただきました。学生が話したように、役に立ったのかなと思いうれしかったです。日々の努力が実を結ぶことを学生たちも知り、努力を続けてくれることと信じています。

掃除をはじめとし、あいさつの仕方や靴の脱ぎ方など気になることはまだまだたくさんあり、日常生活の中から学び習慣づけることがたくさんあります。

できて当たり前と思っていることができていないと驚くことも時々ありますが、学生一人ひとりが気付き身に付けてもらえればと思っています。

実習ノートは宝物

実習に送り出すときは、遅刻はしないだろうか、あいさつは大きな声でできるだろうか、実習期間中何事もなく終えられるだろうかなど、心配事ばかりです。

しかし、実習を終え元気に笑顔で登校してきた学生を見るとホッとします。実習先の子どもたちから貰った

メッセージなどを大事にもち帰り、うれしそうに見せてくれます。ですから実習から帰ってしばらくは学生たちが報告に来るので、教務室がにぎやかになります。

実習で学ばせていただいたことや、苦労して書いた実習ノートは、学生たちにとって宝物の一つになっていると思います。

今、学生たちは実習のオリエンテーションや準備で忙しい日々を送っています。期待と不安でいっぱいだと思えます。この実習でどんな失敗をし、どんな宝物を得て帰ってくるのか楽しみです。私たち教員は、どんなお褒めの言葉をいただいているのか、どんなお叱りの言葉をいただいているのか、期待と不安でいっぱいです。



実習先で学生が作成したトイレの壁面

ブロックだより



北摂

一番大事な 根底を育てる

5月10日、千里阪急ホテルで開催された北摂ブロック保育部会の総会で、平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画・予算案を満場一致で承認。研修

会では菅井啓之氏（京都光華女子大学こども教育学部こども教育学科）が「美しい心を育む自然観察」散歩が保育を変える」をテーマに講演。

教科書等のデジタル化やICT教育が進む中で自然とのふれあいがいかに大切か。人間の命の根源は自然である。自然にふれること

で癒され、世界へのまなざしをいかに広げるかが大事。今の子どもは、自分の小さな世界以外を見ない、知ろうとしない。豊かな世界に豊かに生きるということは周りにある大きな世界に目を向ける（認識する）ことであり、その手段が散歩である。散歩を通して自然から直接学び、表面を見るのではなくその奥を見る。見方が変わると価値が変わり、自分も変わっていく。

そのためには保育者自身が散歩の真髄をわかっていなければいけない。自然との一体感を感じ、その浄化作用で心が落ち着いた状態であれば、寛容性（大らかな心）や柔軟性（自由な心）ができ集中力が高まる。散歩とは、自分で大地にしっかりと立てる子を育てることであると、ご自身の体験やユーモアあふれる事例を交えながら話されました。（編集委員Y・T）

事務局紹介



畑中大蔵

平成28年度より施設福祉部保育部会事務局担当を拝命いたしました、畑中大蔵と申します。府社協に就職し、11年目を迎えました。これまで、福祉人材センターで4年、総務企画部で6年従事して参りました。

家に帰れば一児の父、4歳の娘が保育所にお世話になっており、保育園はとても身近な存在です。保育園が大好きな娘は、毎日の出来事をうれしそうに報告してくれます。保育園が育む子の笑顔を見ると、親として日々感謝の念に堪えません。施設のために、職員の方々のために、子どもたちのために、子どもたちを傾け努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



さんぽ

熊本ならびに大分のみなさまには度重なる地震に見舞われ、人的・物的被害に遭われた方、我慢の避難生活を送っておられる方に、心よりお見舞いを申しあげます。知合いの保育園では人的被害はないようですが、子どもの受入れが手探り状態だそうです。

今回の地震によって危機管理が再認識されています。やれ非常食だ、備蓄用水だ、「まだ期限内かな？ 買いそろえなければ！」などはよく考えて

みると、無事に避難できからの話なんですよ。まずは身の安全。誰しも心のどこかで「自分は大丈夫！」という不確実な確信をもっているのだと思います。

クでも声の出ないローズが船員の笛を奪って吹き、助けられるシーンがありました。それ以来、ミニマグと笛は常時携帯するようになりました。それに加え

ましたので、びっくりしました。温泉宿も道路が遮断されていて、宿側は予約客にすら連絡できずにいます。また、南阿蘇村にあるB級観光光スポットである落ちない石「免

震災による危機管理の再認識

一日も早い復興を願って

北大阪ブロック

神戸の震災後、当地の保育関係者と話した時に「ライトと笛は常時身につけている。何故なら閉じ込められたときに助けを乞うためだ」と聞き、そう言えば映画タイタニック

の石（崖に挟まれ空中に浮いている）にも行きましたが、今回の地震で落ちてしまい、数少ない観光資源を失って気の毒に思います。

一日も早い復興を願うとともに、支援も続けていきたいと思っています。（いずみっ）保育園F・H）

ブロック名	施設名	氏名
編集委員長	坂門ヶ原保育園	齊藤 和正
	玉川橋保育園	小島 雅一
副編集委員長	稲荷学園	丹生 匡紀
	おかまち保育園	得 喜成
北摂	四条保育園	岡本 あおい
	くずは光の子保育園	柴田 弘子
北大阪	ギンガ保育園	田中 達彦
	ゆう安中東こども園	重谷 重大
河内	あい桂こども園	古賀 寿
	エンゼル保育園	吉田 学
	やまゆり保育園	吉岡 敏洋
	高屋保育学園	前田 直樹
南大阪	大野台こども園	吉川 竜平
	美加の台保育園	木村ムジカ由加里
堺	堺東保育園	志摩 拓郎
	みどり幼児園	橋田 浩史
	鳳西こども園	高槻 良平
	久保保育所	中塚 展朗
泉州	幸保育園	安部 かおり
	ひねの保育園	神藤 吉伸
調査研究委員会	姫島南保育園	原 正直